

令和6年 4月26日 (金)

あさひの日だまり

NO.5

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～みんなで造ろう東小！～

児童総会が開かれました



スローガンの提案をする小山会長

本年度の児童会のスローガンが児童総会で承認されました。本年度のスローガンは「みんなで造ろう東小！」このスローガンにした理由が、「みんなで意見を出し合って、明るく楽しい東小を作りたいから」と議案書に書かれていました。目標のところには「みんなで意見を出し合える東小を作る」とも書かれています。私は、児童総会の中でいただいたお話し時間にこんなメッセージを寄せました。(当日出張と重なってしまい、教務主任の先生に、こんなお話をさせていただけるとありがたいです。と、メッセージをお渡ししてお話をお願いいたしました)

先生はね、みんなと先生と一緒に「楽しい学校」を作っていきたいって思っているんです。

「楽しい学校」ってどんな学校かっていうとね、先生に言われたことを言われたとおりにやっていること。友だちにあわせていつも同じように動くこと。これじゃあ絶対楽しくならないと思っているんです。

自分で考えて自分で判断して動いてみる挑戦してみる。上手くいったって失敗したっていいんです。失敗したらやり直せばいいんです。誰かに言われたとおりにするんじゃなくて自分で頑張ってみることの充実感と満足感のすばらしさを感じて欲しいんです。

今年の児童会のスローガンは「みんなで造ろう東小！」です。先生はこのスローガンがとても素晴らしいと思っています。自分たちで考えて、話し合っ、こうしようって決めて、児童会活動に取り組んでみようってところがすごいと思います。先生に頼るんじゃなくて、困ったらみんなって知恵を出し合っ、他の誰のためでもない、自分たちの児童会を造って下さい。

先生たちは、皆さんが自分たちで一生懸命に考えて話し合っ、決めたことに挑戦する姿を精一杯応援します。

ある児童が、総会の中でこんな質問を出しました。

「この中には、意見を出すのが苦手な人もいると思うんですがそういう人はどうすればよいのですか？」

もっともな質問です。きっとこの先スローガンを本物にしていこうとすればするほどこのことは全校の課題になっていくことと思います。その時こそ、みんなの意見が大切になるはず。問題の解決に「挑戦」する子どもたちの姿が今から楽しみです。



それぞれの委員会には質問者の列ができました

～参観日・PTA 総会・学年学級懇談会へのご参加ありがとうございました～

26日(金)は今年最初の参観日でした。PTAの総会と学年学級懇談会も行われました。ご多用中にもかかわらず都合をつけてご来校いただいた皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。お子様の頑張りをぜひとも今日の食卓の話題にしてあげて下さい。ちょっと落ち着きがなくて心配になったお子様も、手を挙げずにわかってるのかわかってないのか心配になったお子様も、その子なりに子どもたちは外からは見えませんが一生懸命にその場で頑張っているのです。色々一生懸命に考えているのです。「頑張ってたね」の一言がやっぱり一番うれしい一言になります。明日からのエネルギーになります。よろしくお祈りします。

日程の中に保護者の皆様へお話をさせていただき時間をもらえました。そこで話そうと思っている原稿を掲載させていただきます。目を通していただけたら幸いです。

本日はご来校いただきまして誠にありがとうございます。このような機会をいただきましたので、短時間、本年度の学校運営の方向についてお話をさせていただきます。

その前に少し、「なるほどな～、子どもってすごいな～」と思ったことをお話しさせていただきます。

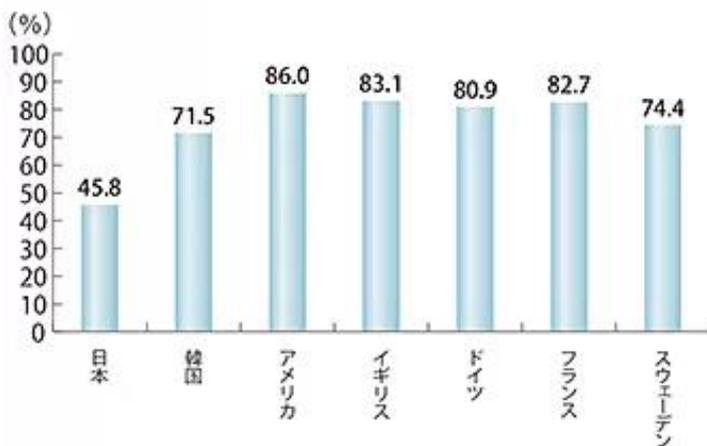
今朝の昇降口での出来事です。女の子が二人一緒に登校してきました。「ジャンケンポン！」一人の子が私に向けてパーの手を差し出しました。私はグーです。「あ～負けちゃった」私は悲しそうに声を挙げました。「ん～ん、校長先生のグーは大きいから私の手じゃ包めない、校長先生の勝ち！」だということです。思わず「そ～か校長先生の勝ちか、そうだな校長先生のグーでっかいもん」と話しました。そうしたら隣の子が「私もパー」と言いながら両方の手を広げて私のグーを包み込みました。私のグーは4つの小さなパーで包まれました。「私たちの勝ち！」「本当だ、4つのパーで校長先生の負けだ」朝から素敵な負けをプレゼントしてもらいました。

男の子と女の子がいっしょに登校してきました。途中で偶然一緒になったのでしょうか、この2人が一緒に登校する姿を私は初めて見ました。女の子は学校ではおとなしく見える子です。男の子は、けっこう暴れっ子でお友だちを泣かせたりすることもしばしばです。女の子が先に小さな声で「おはようございます」とあいさつをしてくれました。いつもなら、私の方へ目を向けながらエイヤーのポーズで玄関へ飛び込んでいくその男の子が、小さな声で「おはようございます」と言いながら通り過ぎていきました。「仲間と一緒に生活するってすごいことだな～」と思わず感心すると同時に、小さな声で挨拶してくれた男の子が愛おしく思えてなりません。

本題に入ります。今年の学校目標は「楽しい学校」です。目指しているのは充実感と満足感に結びついた「楽しさ」です。充実感と満足感は、自分で課題を見つけて、解決の方法を自分なりに考えて、行動を起こすことによってもたらされます。一言でいうと「自律した姿」を目指すということになるかと思えます。私は子どもたちにそれを「挑戦」という言葉で伝えています。行動を起こすことと簡単に言葉では言えますがこれはなかなか難しいことだと思っています。なぜなら行動を起こす原動力は自分に対する自信、自己肯定感と言ってもよいかもしれませんがそういうものだからです。

左の表をご覧ください。

自分自身に満足している



「自分ってすごい」という、私たちがぜひ子どもたちに感じて欲しいと願っているそういう感覚をもしかしたら日本の子どもたちはあまり持ち合わせていないのかもしれませんが。

学校生活の中で何かに「挑戦」できる場面を作ってあげたいと考えています。上手くできるか失敗するかは大きな問題ではありません。「挑戦」しようとするその姿を「すごい！」とほめてあげたいのです。「私ってけっこうやるじゃん」と思える瞬間をぜひ作ってあげたいと思っています。そういう経験を何度も積むことで、子どもたちは、新しい挑戦を

楽しめるようになっていってくれると思っています。

楽しい学校を目指して、自律した子どもの姿を求めて、職員一同、ご家庭の支援をいただきながら精一杯努めてまいります。学校へのご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

～アルミ缶集めにご協力ください～

保健厚生部の方がこんな素敵な看板を作って下さいました。アルミ缶はいつでもこの中へお入れください。小学生のおられないご家庭は近くの子どもに託して下さると幸いです。お休みの日に入れていただくこともできます。

